



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第35号



今年もウマくいぐように  
ふれあい体験園（昭和天神下）  
午（うま）年

## 12月定例会

H26(2014)01.01

平成26年(2014年)

1月1日発行

- 年頭のあいさつ…………… 2
- 12月定例会…………… 3～4
- 臨時議会…………… 5
- 市議会議員研修会…………… 5
- 委員会報告…………… 6～7
- 一般質問…………… 8～11  
5氏が市の方針をただす
- 関係私企業の公表…………… 11
- 賛否一覧…………… 12



# 「市民とともに歩む開かれた議会」

## をめぐして

潟上市議会議長 千田 正 英

新年あけましておめでとうございます。皆様には平成26年の新春を健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に對しましては、温かいご支  
援・ご理解を賜り厚く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では、「アベノミクス」「三本の矢」に代表されるように、  
デフレと円高からの脱却をめざした経済政策の効果が表れ、各企業が業績見通しを上方修  
正するなど、日本経済は徐々に回復してきております。しかし、県内においてははまだ実感  
が無く、地域経済にも早くその波及効果が表れてほしいと願っております。

本市では、長年の懸案事項でありました新庁舎建設に関わる予算が、昨年8月の臨時議  
会において可決されました。これまで庁舎の位置、事業費、基本コンセプトなど紆余曲折  
をたどり、足かけ7年の歳月がかかりましたが、最後は全会一致で可決されたことは、議  
会にとって大変意義深いと思うと同時に、新生「潟上市」の拠点の議決に立ち合えたこと  
を光榮に思っております。

また、議会運営の基本事項を定め、議会の果たすべき役割と責務のあり方などを明文化  
した「潟上市議会基本条例」及び「潟上市議会議員政治倫理条例」が制定されました。地  
方分権時代を迎え議会の役割と責任は以前にも増して大きくなっていく中で、二元代表制  
の趣旨をふまえ、市民とともに歩む開かれた議会、行動する議会を目的に、活力と魅力あ  
ふれる「まちづくり」の実現をめざそうとするものです。市民の皆様には、本趣旨をご理  
解下さり更なるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年も今年です。馬は「物事が、うま、くいく」「幸運が駆け込んでくる」などと言わ  
れる縁起のいい動物です。新しい年が皆様にとっても潟上市議会においても飛躍の年とな  
るよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます

- 議長 千田 正 英
- 副議長 佐々木 嘉一
- 議員 中川 光 博
- 議員 大谷 貞 廣
- 議員 児玉 春 雄
- 議員 藤原 幸 作
- 議員 菅原 理 恵子
- 議員 澤井 昭二 郎
- 議員 菅原 久 和
- 議員 伊藤 栄 悦
- 議員 戸田 俊 樹
- 議員 小林 悟
- 議員 岡田 曙
- 議員 佐藤 昇
- 議員 藤原 典 男
- 議員 西村 武
- 議員 鈴木 斌次 郎
- 議員 堀井 克 見
- 議員 藤原 幸 雄

(議席順)

事務局職員一同

2013年

# 12月定例会

12月5日～19日

## 全案可決

### 一般会計補正予算

【補正額】

△ 1億6,349万9千円

【総額】

148億 970万2千円

### 歳出の主なもの

- 集会所用地取得費

1,085万9千円

- 市役所庁舎整備事業新庁舎棟建設工事  
(前払金の請求がなかったため)

△ 1億円

- 多目的交流施設整備事業  
(豊川コミュニティセンター)一般備品購入費

1,236万8千円

- 福祉灯油購入費助成金

1,950万円

### 特別会計補正予算

(単位：千円)

	補正額	補正後の 予算額
国民健康保険事業	47,320	3,877,794
後期高齢者医療	△ 908	272,100
農業集落排水事業	153	103,123
下水道事業	△ 9,857	1,198,667

### 水道事業会計補正予算

(単位：千円)

	補正額	補正後の 予算額	
収益的収入	2,000	601,271	
収益的支出	1,739	590,656	
資本的収入	△ 122,922	8,024	
資本的支出	△ 120,652	233,987	
補てん財源	損益勘定 留保資金	2,270	225,963

提出された

主な条例や議案

#### ◎情報公開条例

本市の情報公開条例と国の「情報公開法」との整合性を図るため、現条例(17条)を改正案(35条)とするため、一部改正でなく全部改正するもの。

#### ◎合併振興基金条例

合併に伴う住民の連帯の強化及び地域振興に資することを目的として、合併特例債による基金を積み立てるため、条例を制定するもの。

#### ◎都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例

都市計画法第34条第11号の規定する区域のうち、国道沿道に指定していた一定規模の開発を認める区域の線引きを、国道以外の幹線道路沿道にも適用できるようにするため、条例の関係部分を改正するもの。



# 12月定例会に 提出された議案等

## ◆報告事項

- ・損害賠償の額を定めることについて

## ◆条例の制定・改正

### 全案可決

- ・合併振興基金条例
- ・情報公開条例
- ・都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例
- ・半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例
- ・市営住宅条例の一部を改正する条例
- ・農業集落排水施設設置条例等の一部を改正する条例
- ・下水道条例の一部を改正する条例

## ◆指定管理者の指定

### 原案可決

- ・都市公園等6施設の指定管理者の指定

## ◆補正予算

### 全案可決

- ・一般会計補正予算(第8号)
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ・農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ・下水道事業特別会計補正予算(第3号)

## ◆人事案件

- ・人権擁護委員

鑑 長秀氏 **再任**

(飯田川下虻川字屋敷)

- ・合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
- ・水道事業会計補正予算(第4号)

## 陳情

### 採 択

- ・地方税財源の充実確保を求め  
る意見書の提出について
- ・「原子爆弾被爆者に対する援  
護に関する法律」改正を求め  
る意見書採択についての陳情  
書
- ・集会所の新規建設について  
の陳情書
- ・日本国憲法をいかし、安定し  
た雇用の実現を求める陳情  
書
- ・医療・介護など社会保障の充  
実を国に求める意見書提出を  
要請する陳情書

### 不 採 択

- ・安全・安心の医療・介護の実  
現と夜勤改善・大幅増員を求  
める陳情書
- ・介護職員の処遇改善を求める  
陳情書
- ・違法な臓器生体移植を禁じる  
ことを求める陳情書

### 継続審査

- ・出戸地区コミュニティセンタ  
ー建て替えの陳情書

(総務文教常任委員会)

● 一般会計補正予算（第7号）

観光費1,444万8千円、工事請負費はブルーメッセあきたエアコン更新工事です。

エアコンを操作するための基盤や室外機2台、室内機11台を更新するものです。

エアコン機器と設備設置費が965万円、既設エアコン撤去費が102万円等です。

**問** 指定管理制度での会社との設備の修理関係は。

**答** 元となるものが壊れたものについては、市の方で修理するのが基本と考えており、大規模な建物の大きいものについては市の方で工事をします。

**問** メンテナンス関係はどのようになっているのか。

**答** 本来10年すると更新の時期に入りますが、自前で点検をしながら進めてきたという状況があつて15年間もつたという事です。

**問** 工期は。

**答** 資材関係がすぐに調達できるのか懸念されますが、早急に工事を完成させます。

● 秋田県市議会議員研修会

平成25年度秋田県市議会議員研修会（秋田県市議会議長会主催）が11月15日、秋田キャッスルホテルを会場に開催されました。

研修には潟上市議会議員をはじめ県内13市から市議会議員と議会事務局職員合わせて約300人の出席がありました。

当日は山田久志氏（プロ野球解説者）により「私の野球人生〜栄光に近道なし〜」と題して講演が行われました。

山田氏は、能代市出身でプロ野球阪急ブレーブスのエースとして7度のリーグ優勝、3度の日本一に貢献、通算284勝、2,058奪三振、平成18年には「野球殿堂」入りした輝かしい実績の持ち主です。

自身のサヨナラエラーで甲子園出場を逃し、投手転向を薦められた能代高校野球部の太田監督、社会人野球でアドバイスを受けた富士製鐵釜石（現・新日鐵釜石）の中谷監督、プロ入り後負け続けた自分を使ってくれた西本監督とのエピソード、日本シリーズでの長嶋・王選手との対戦秘話などユーモアたっぷりに語られました。

多くの人との出会いに恵まれた野球人生を振り返り、仕事の職種は違っても目

標に向かって邁進する姿勢・気持ちを熱く語っていた、だき、大変有意義な講演でした。

平成25年度 秋田県市議会議員研修会



山田 久志 氏



委員会の動き

# Q&A 総務文教

市はどう答えたか

委員長	藤原 幸雄
副委員長	児玉 春雄
委員	藤原 幸作
委員	菅原理恵子
委員	戸田 俊樹
委員	堀井 克見
委員	佐々木嘉一

### ●合併振興基金条例

**問** 合併特例債を活用して基金を増設する目的と積立額はいくらか。

**答** 2年間平成25～平成26年で積立額は18億2,820万。目的は地域自治のソフト事業のみで活用例は自治会活動の振興や地域活性化のイベント対象です。償還金の70%が地方交付税に算入されます。

### ●情報公開条例

**問** 市民に説明する責任や姿勢が大事であるが市民の知る権利は条例のどの部分か。

**答** 知る権利は第1条の目的に自治基本条例の自治の基本原則にのっとり公文書の開示を請求する権利を知る権利ととらえています。

**問** 情報公開に対し文章等開示準備は出来ているか。

**答** 文書管理規程に基づき各部署毎に管理されているが更に調査し整備を進めます。

### ●半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例

**問** 条例の適用により該当企業はあるか。

**答** 電子部品製造企業が該当となり減税となる固定資産税は地方交付税で補填されます。

### ●駐車場使用条例の一部を改正する条例

**問** 消費税は外税か、場所はどこか。

**答** 今までは内税として運用、今後は消費税率改正に合わせ外税とします。駐車場は昭和地区圓福寺参道向いと飯田川地区雇用促進住宅に隣接する市有地です。

### ●一般会計補正予算(第8号)

**問** 継続費補正の市役所庁舎整備事業で1億円の減額の理由は。

**答** 前払金1億円については期限まで請求が業者よりなかったためです。

**問** 自治振興費の公有財産購入費1,085万9千円について。

**答** 羽立神明自治会館と中町集会所の2か所分で面積は785m<sup>2</sup>です。

**問** 多目的交流施設整備事業について地域活性による大学連携の内容は。

**答** 秋田大学、地域の活性化と防災対策をテーマとして5年間連携し、多目的交流施設の部分とコミュニケーション施設の部分に分け備品等整備します。



多目的交流施設建設現場

委員会の動き

# Q&A 社会厚生

市はどう答えたか

委員長	小林 光博
副委員長	中川 貞廣
委員	大谷 貞悦
委員	伊藤 栄悦
委員	西村 武
委員	千田 正英

### ●一般会計補正予算(第8号)

**問** 減額補正による水質委託調査結果は。

**答** 農業用水路3地点、農業用ため池3地点について測定の結果、人の健康及び作物への影響はありません。

**問** 水質検査については、市内から八郎湖へ流入する水質は問題ないことを県へアピールして、八郎湖全体の水質改善の要望をしたらどうか。

**答** 水質改善の要望は、機会あることに行っており、県では、今年度、馬踏川に破壊式アオコ処理装置を設置するなど、アオコ対策における試験を行っておりです。今後も引き続き水質改善について要望していきます。

**問** 一般ゴミ収集委託は1年の委託契約とのことですが、収集車両などの耐用年数を考えれば、1年契約では不安定と思われるが。

**答** 今年度の契約については、クリーンセンター基幹改良工事及び年度内にビン分別収集の計画もあったことから、1年契約としております。平成26年、27年度におけるビンの収集状況を見ながら、長期

継続契約について検討します。

**問** 最終処分場残容量算定の結果について、今後の見込みは。

**答** 来年1月からビンの分別収集を開始すること、延命化が図られることから、平成31年度末までは埋立可能と考えております。

**問** 新たな処分場確保まで6～7年を要するとのことでしたが今後の計画は。

**答** 平成26～27年度において、用地選定を含め、基本計画に必要な事項について調査を始めたいと考えております。



ビンの分別

**問** 福祉灯油購入費助成金事業の対象世帯など詳細は。

**答** 市民税非課税の高齢者世帯で70歳以上のみで構成される世帯、重度障害者世帯で身体障害者手帳(1、2級)療育手帳(A判定)精神障害者保健福祉手帳(1級)を所持している方のいる世帯、一人親世帯で18歳未満の児童を扶養している世帯及びこれに準ずる母子、父子家庭等の世帯、生活保護世帯が助成対象となります。

**問** 不妊、不育治療費助成の今年度の実績は。

**答** 特定不妊治療6組6件、一般不妊治療7組9件となっております。

委員会の動き

# Q&A 産業建設

市はどう答えたか

委員長	藤原 典男
副委員長	鈴木斌次郎
委員	澤井昭二郎
委員	菅原 久和
委員	岡田 曙
委員	佐藤 昇

### ●都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例

**問** 都市計画法第34条第11号による規制緩和は大変良い制度と捉えているが、メリットが広く浸透していないし、その範囲もよく伝わっていないのでは。

**答** 機会を見て広報などで制度の詳細やその範囲について、市民の方々にお知らせします。

### ●水道事業給水条例等の一部を改正する条例

**問** 一向地区の水道料金が他地区と統一されるのはいつか。

**答** 平成31年4月からです。

### ●都市公園等6施設の指定管理者の指定について

**問** 平成21年度6,249万円の協定額であった、その後毎年120万円程度の協定額が減額されているようだが、その要因は。

**答** 指定管理者が、有料行事の来園者数の増加策を講じたり、施設管理に工夫を凝らして省力化に努めたりと自助努力と捉えています。

### ●一般会計補正予算(第8号)

**問** 温泉井戸の掘削場所は。

**答** 温泉くらしからなるべく近い場所の鞍掛沼の北西部を検討しています。

**問** 既存の井戸はどうなりますか。

**答** 温泉法により埋戻しの処置が必要となります。

**問** 既存井戸の故障後、地下水による営業に切り替わってから入場者数の推移は。

**答** 対前年度比で、8月8・7%、9月11・9%、10月6・5%、11月4・9%減少しています。

**問** 以前、除雪業者が市の補助金を利用しロータリー除雪機を購入しているがそれは何台か。

**答** 6台で、市所有分と併せて7台です。

**問** 市道と県道の交わる場所の除雪が難しいと思うが、その対応は。

**答** 県道の排雪については、通学路を中心に排雪しております。必要な道路排雪が進まない状況で、過去に市では県道の排雪をしたことがありますが、市民の方には迷惑がかららないよう、県とも協議をし、対応します。

### ●下水道事業特別会計補正予算(第3号)

**問** 一般会計繰入金減額についての内容は。

**答** 前年度繰越金が4,019万円の増額で、国庫補助金が156万1千円と下水道債が140万円の増額となり、繰越額の増額により、一般会計繰入金を減額するものです。



除雪状況



### 現庁舎の利活用について



藤原 幸作  
議員

**質問** 昭和庁舎は平成8年（1996年）に建設、17年経過の建物であります。合併の初心に帰り均衡ある地域発展と潟上市文化向上のために昭和庁舎を活用した文化会館の建設を提案します。所信を伺います。

**答弁**（市長）問題は文化会館の必要性ということだろうと思えます。先日、潟上市芸文協天王支部の総会の際にも会長から文化会館の必要性を要請されました。必要性は当然必要だという認識は変わりません。

問題は、この昭和庁舎の一部でもいいからホールのなものでないかということについては、柱など技術的な面、財政的にも無理であろうと思っております。しかしながら、将来にわたる前提で質問しておりますので、別建てに考えて考えなければならぬと考えているところであります。

### 地場産業の振興について

**質問** 市は、東京に職員を派遣し県と一体となって企業誘致を展開しているが、現在の社会、経済情勢下においては厳しい。そこに潟上市独自の産業育成強化策として中小企業のオンリーワンの「も

のづくり」に産学官の連携協定を生かす政策が緊要であります。また、八郎湖名産の佃煮は県を代表する地場産業であり、地域雇用対策としても重要な要素を持っております。若者たちが関心を高め、佃煮を日常における食習慣化や全県の給食への供給体制などの新しい展開が「市の産業のまちづくり」の一環であると思えます。対策はどのようにとりますか。



潟上市特産 佃煮

**答弁**（産業建設部長）潟上市のオンリーワンのものを生み出すには誘致した企業をはじめとして新たなベンチャービジネスの創設など、企業の自主性、創造性を促す環境づくりが必要であり、「協同のまちづくり」のために連携協定している秋田大学、秋田県立大学や商工会とも連絡調整をし、地域

商工業の振興を図ってまいります。**答弁**（教育長）佃煮は、保育園、幼稚園9園の内7園、小・中学校では、9校中8校が献立に取り入れております。佃煮は優良な健康食品であり、体の基本をつくる幼少期にカルシウムの豊富な佃煮を摂取すること、地元の食材に親しむことは、食育の観点から望ましいことであること、県・本市の地場産業であり、今後は少しでも販売に協力できればと考えます。



菅原理恵子  
議員

### 全段階に災害弱者の視点を

**質問** 防災・減災の立案から実施まで、災害弱者の視点の重要性に

27年3月完成目指して作業を進めてまいります。

**質問** 福祉避難所については。

**答弁**（市民生活部長）協定を結んだ天王みどり学園は、18歳未満の子供とその家族に限定した福祉避難所となっている。在宅の要援護者を対象とした福祉避難所は、市内にある老人ホームやデイサービスセンターなど、福祉避難所とし

のデジタル化と合わせ情報伝達手段の複合化について検討してまいります。



緊急告知ラジオ

**質問** 全指定病院で、不在者投票管理者が指定した外部立会人による立会によつての不在者投票実施は。

**答弁**（総務部長）平成25年の公職選挙法の改正により指定病院等の不在者投票において外部立会人制

### 障害者と 防災について

ついては。

**答弁**（市民生活部長）災害時要援護者の対応として、避難方法から避難生活場まで、東日本大震災をはじめ、大規模災害での教訓を生かした具体的な対応策を定める。女性や災害弱者の立場に立った「避難所運営マニュアル等」も合わせて作成し地域防災計画を平成

て指定できるか否かを含めて協議してまいります。

**質問** 緊急告知ラジオの導入については。

**答弁**（市民生活部長）防災無線の緊急放送受信可能性について、試験機借り受け調査を実施。また調査の必要性があり、防災行政無線

### 不在者投票の外部立会人について

度が設けられ、不在者投票の公正な実施確保の努力義務が設けられています。

今後とも指定病院等へ選挙期日を通知する際には、この制度の周知を図るとともに、不在者投票の公明性の確保に努めてまいります。



佐藤 昇  
議員

**質問** 人口減少の要因については。  
**答弁**（市長）高齢化社会の進展と出生数の減少が根本的なもので、社会構造の変化、移動など要因で一体的な対策が必要であると認識をしております。国・県と連携し、産業振興など現時的検討が必要であります。

**質問** 産業構造・総生産額減少の要因については。  
**答弁**（市長）農業粗生産額、就業人数、耕地面積、農家数の減少、平成17年度と22年の比較では第2次産業8%第3次産業が10%減少

していません。勤労者が市外の場合含まれません。

**質問** 中小企業の活性化については。

**答弁**（市長）プレミアムつき共通商品券発行事業を継続実施しており地域経済の活力創出を図っております。各種融資制度を継続実施し、企業者の円滑な経営を支援しております。

**質問** 幹線道路整備の明確化については。

**答弁**（市長）旧3町の幹線道路の強化とそれを結ぶ新たな東西軸の整備を主眼とした13路線を主要路線として進めます。多大な費用と長い時間がかかることから、各種条件が整った路線から整備します。

**質問** 農林漁業の対応については。

**答弁**（市長）米を取り巻く状況はますます厳しくなっている。新規就農者の確保や集落営農組織等の法人化に努めてまいります。花・果樹など、生産振興を図ると共に、6次産業化に向けた取組みを支援する農業基盤整備事業を推進し農地の区画拡大及び利用集積の推進を図ります。森林は多面的機能を有しており林道の整備及び山林の針広混交林事業を進めます。水産業の振興につきましては「作り育てる漁業」を推進し毎年度放流事業を実施しております。

**質問** 都市計画法第34条の11号のPR方法については。

**答弁**（市長）現在、市のホームページに掲載しておりますが、機会を見て広報等においても制度の概要や活用方法について、又マスコミを利用したPRを行ってまいります。



潟上市総合発展計画書

**質問** 新築入居者に特典を与える方策は。

**答弁**（市長）住宅を新築された場合、課税標準額の特例措置や、固定資産税の減額措置があります。「秋田スギの家」普及促進事業も条件次第では利用可能と考えられます。

**質問** この制度の適用できる範囲区域の明確化については。

**答弁**（市長）市のホームページに区域図も掲載しております。詳しくは都市建設課の方へお問い合わせいただければ詳細な図面をもとに説明致します。

### 総合発展計画の進捗状況について



潟上市の未来づくりプログラムの現状は



佐々木嘉一 議員

質問 事業の主旨は、潟上市の地域資源や課題を活用し将来のまちづくりにつなげるため、県と市が協働して事業を計画し、取組み課題を解決するための実施プログラムを作成し、ソフト、ハード両面から事業化し、そのため県は2億円を負担して行うプロジェクトとして提案を行うという主旨です。が本事業に対する市長の認識は、[答弁] (副市長) 今年6月県地域活力創造課と打合せをしています。が、県と市双方の共通課題の解決につなげるような事業という視点、財政負担を含め慎重に検討しています。



進む農地集積加速化基盤整備事業(豊川地区)

質問 市内部にプロジェクトエクストラクターはありますか。[答弁] (副市長) 事業化にむけて協議、調整の場となるプロジェクトエクストラクターはありませんが、市内部にプロジェクトエクストラクターが発足し、市民間アドバイザーの参加を得て、事業の効果、実効という観点から体制を図られることになりました。質問 プロジェクト構想の検討はしていますか。[答弁] (副市長) 本事業の策定期間は、平成28年度とされています。

県からの通知により、平成28年度の事業着手等要件を具備すれば事業の延長もできるとされています。質問 政府のコメ政策の転換と潟上農政について [答弁] 政府は平成30年をメドに米の減反政策を廃止します。またこれまで生産調整に協力してきた農家に支払いした戸別所得補償交付金は減額、廃止の方向です。政策転換後の米作りは農家、農業団体、行政が市場動向を見ながら需給を判断し、主食用米の作付を決めること。また、主食用以外は飼料用、米粉用を選択し水田をフル活用するということですが市農政を担当する市長の認識と展望についてどのように考えていますか。[答弁] (市長) 現在のところ全体計画が見えないので5年後の事は暗中模索の状況です。県においても

プロジェクトチームを作りました。当然、市町村との連携も必要になると思います。あわせて潟上市農業全体というものを構築しなければならぬと考えています。質問 所得政策としての潟上農業については。[答弁] (産業建設部長) 農業所得の向上対策は稲作一辺倒からの脱却を目指し、転作を組み入れた複合経営の確立を図ることです。そのため市単独の「潟上市農業生産力向上事業」により、国県の補助事業と合わせ事業を推進します。質問 地域農業と地域コミュニティについての考えは。[答弁] (産業建設部長) 農業者の高齢化、担い手不足により集落機能は低下しています。そのため「農地・水・保全活動」や「中山間地域活動」の交付金を活用し、地域機能の向上に努めます。

子供の医療費無料化の 拡大について



藤原 典男 議員

質問 子供の医療費助成制度は県内でも中学卒業まで無料化する市町村が増えてきたが本市でも子育て支援策として無料化を検討すべきではないか。[答弁] (市民生活部長) 本市では平成24年8月より小学6年生まで所得制限をなくし通院・入院まで無料化しております。中学生は780人で積算した推計値で入院は約50件の400万円、通院では約7,600件の1,900万円となります。県の制度拡充から1年経過した

ばかりで、財源確保の観点から県と歩調を合わせた形での助成を行うってまいります。

今後の農業支援策について

質問 政府はコメの減反政策を中心とする発表を行ったが、本市での今後の農業支援策や後継者問題などをどう考えていくのか。

[答弁] (産業建設部長) TPP (環太平洋経済連携協定) の行方も極めて不透明なことから、農政全般について今後十分な見極めが必要な時期と認識しております。これまで推進してきた転作物物を組み合わせた複合経営の確立、農業の6次産業化などの施策が求められ、農業政策の方向を農業者、関係機関と協議していきます。農業後継者の育成は青年就農給付金の活用

や認定農業者との交流などを行っていきます。質問 スポーツ振興策について [答弁] スポーツ基本法が平成23年に施行されたが心身の健全な発達

員を配置しております。今年度は高校の保健体育の教師でオリンピックメダリストを学校運営相談員として活用しております。スポーツ少年団の指導者の新規登録者は昨年61名、今年42名です。「チャレンジデー」は住民参加型スポーツイベントです。市民一人ひとりが年齢、体力に応じた取り組みを進めます。

のため年代ごとのスポーツ振興策、指導者の養成は。[答弁] (教育長) 現在秋田県が「スポーツ立県あきた」を具現化するための今後4年間の推進プランを計画策定中です。県の計画に即した本市におけるスポーツ推進計画を平成26年度以後の策定に向け検討してまいります。この骨子案には子供も若い人も高齢者も障害者も楽しくスポーツに取り組み内容が入っています。小・中学校における専門スタッフの配置は武道が必修になったことから独自に支援



天王総合体育館

潟上市議会議員政治倫理条例 関係私企業の公表

「潟上市議会議員政治倫理条例」第13条第7項の規定に基づき、議員から関係私企業等の届け出がありましたので、その概要を公表します。就業報告書(役職となっている団体等の名称等を記載)は閲覧することができますので、議会事務局に申し出ください。

11月1日現在のものを議席番号順に掲載しています。

氏名	職	業	本人が実質的に経営に携わっている企業・役職名
中川 光博	無	職	
大谷 貞廣	無	職	
児玉 春雄	無	職	
藤原 幸作	農	業	
菅原理恵子	無	職	
澤井昭二郎	農	業	
菅原 久和	会社役員		菅久合資会社 代表社員
伊藤 栄悦	無	職	
戸田 俊樹	農	業	
小林 悟	会社役員		昭和電気工業(株) 代表
岡田 曙	会社役員		(有)春風 代表取締役
佐藤 昇	農	業	
藤原 典男	政党役員		
西村 武	自営業		(有)天王バッティングセンター、翔和ゴルフガーデン 代表取締役
鈴木斌次郎	農	業	
堀井 克見	無	職	
藤原 幸雄	土地賃貸業		ミートショップ藤原 代表
佐々木嘉一	農	業	
千田 正英	無	職	



# 12月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

((○)：賛成、(×)：反対、(-)：議長

会派名	議案等		議案第92号 水道事業給水条例等の一部 を改正する条例	陳情第22号 出戸地区コミュニティセン ター建て替えの陳情書 (継続審査についての賛否)
	氏名			
政友平成会	会長	大谷 貞 廣	○	×
		児玉 春 雄	○	×
		佐藤 昇	○	○
		澤井 昭二郎	○	○
		藤原 幸 作	○	×
政和会	会長	堀井 克 見	○	○
	幹事長	岡田 曙	○	○
		西村 武	○	○
潟上21改革 クラブ	代表	鈴木 斌次郎	○	○
	幹事長	小林 悟	○	○
		佐々木 嘉 一	○	○
潟上21振興 クラブ	代表	戸田 俊 樹	×	○
		菅原 久 和	○	○
		中川 光 博	○	×
会派に属さない	日本共産党	藤原 典 男	○	○
	公明党	菅原 理恵子	○	○
	真政市民クラブ	伊藤 栄 悦	○	○
	新星会	藤原 幸 雄	○	○
	議長	千田 正 英	-	-
結 果			可 決	継 続 審 査

## 編集委員から

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様にとり  
まして幸せ多き一年であり  
ますようご祈念申し上げます。

さて、私達広報編集委員  
も今回の議会だより発行で  
2年間の任期が終了いたし  
ます。これまでのご愛読に  
感謝申し上げます。今後と  
も議会だよりに対し、何な  
りのご意見を賜りますよう  
お願い致します。

(委員長 中川光博記)

読み易く分かり易い紙面  
を心掛けて編集に努めまし  
た。主にQ&A、委員会の  
動き「総務文教」市はどう  
答えたかを執筆。ご愛読あ  
りがとうございました。

(副委員長 戸田俊樹記)

議会活動を広く市民の皆  
様に伝えるため、見やすく、  
分かりやすい紙面を目指し  
て議会の情報発信をしてき  
ました。ご愛読に感謝しま  
す。

(菅原久和記)

議会広報は、議員が市民  
の信託に応えているかの鏡  
です。議会の責務を果たす  
よう頑張つて参ります。

(伊藤栄悦記)

いつも「議会だより」を  
楽しみにご覧になっている  
市民の皆様、ありがとうございます。  
今年も皆様の議  
会傍聴もお願いします。

(藤原典男記)

編集委員として、初めて  
議会だよりの編集作業をさ  
せていただきました。公平  
かつ公正な議会の立場で、  
皆様に分かり易い文章構成  
を心掛けました。大変有意  
義な経験をさせていただきました。  
ありがとうございます。

(鈴木斌次郎記)

